

入試年度	2025年度入試	研究科	商学研究科
課程	修士課程	コース	中小企業経営管理コース
入試期	1期	入試方式	全入試区分
研究分野(演習科目名)	中小企業経営管理		
<b>出題意図及び解答又は解答例</b> <b>※試験問題自体を公開しない場合はその理由</b>			
出題問題	商学または経営学について、これまでに、どのような理論を学んできたのかについて述べよ。		
出題意図	①基礎学力・学修到達度の確認。商学／経営学の主要領域(経営戦略、組織、マーケティング、会計・財務、人的資源、オペレーション等)について、どの程度体系的に学んできたかを把握する。 ②理論を言語化し整理する力の確認。単なる科目名・用語列挙ではなく、理論を自分の言葉で説明し、相互の関係を整理できるか(概念理解・構造化能力)を測る。 ③研究・実務への接続可能性の確認(中小企業診断士養成として)。学んだ理論を、中小企業の経営課題(売上・収益、資金繰り、人材、DX、事業承継、地域連携等)にどう使えるか、応用志向・問題意識の有無を見る。 ④学修の一貫性と成長軌跡の確認。これまでの学びが、経験(職務・学部・資格学習等)とどう結びつき、どのように理解が深化してきたか(動機・関心領域・伸びしろ)を確認する。 ⑤大学院での学修適性(リテラシー)の確認。文献や理論を参照しながら、限定された字数で筋道立てて書けるか(論理性・記述力・学術的作法)を測る。		
解答又は解答例	本問題は論述式の筆記試験問題であり、解答は一義的でないため、以下に、採点時の基準や観点等を示している。採点にあたっては、以下の点を総合的に評価する。 ①内容面(何を学んだか)。主要領域のカバレッジ:商学／経営学の複数領域に触れているか(偏り過ぎないか)。理論の正確性:概念の誤用がないか、定義や主張を取り違えていないか。具体性:理論名だけでなく、要点(何を説明する理論か)まで書けているか。深さ:入門的紹介で止まらず、前提・限界・比較(例:A理論はB理論の何を補う)まで示せているか。 ②構成・表現(どう書けているか)。構造化:領域別／時系列／問題別など、読み手が追える整理軸があるか。論理の一貫性:主張→根拠→例示の流れがあるか。飛躍がないか。文章力:簡潔で明確か、冗長・感想文調・曖昧語の多用がないか。学術的リテラシー:用語の使い方、参照の姿勢(「～を学んだ」だけでなく理解が見える)。 ③応用・適性(コース適合)。中小企業への接続:理論を中小企業の現実課題にどう当てるかの視点があるか。診断士養成との親和性:現場の観察→分析→施策立案→実行支援という志向が見えるか。問題意識:自分が今後深めたいテーマ(例:事業承継、販路開拓、組織開発等)が明確か。反省的理解:理論の限界や適用条件にも触れ、万能視していないか。		